

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	944.00	2022/10/31
High	967.00	2022/11/4
Low	911.90	2022/11/3
Close	964.85	2022/11/4

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4484.00	2022/10/31
High	4560.00	2022/11/4
Low	4349.00	2022/11/3
Close	4548.00	2022/11/4

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1900.00	2022/10/31
High	1950.00	2022/11/1
Low	1773.00	2022/11/3
Close	1867.50	2022/11/4

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9021.00	2022/10/31
High	9225.00	2022/11/1
Low	8458.00	2022/11/3
Close	8804.00	2022/11/4



ニュースエクスプレス

プラチナ

南アフリカのプラチナ供給、エスコム問題で中断
南アフリカの電力削減は例年よりもひどく、南半球ではこれから夏が訪れることもあって影響は2023年にも及ぶ模様だ。エスコムは政府の要請を受けて頻繁に計画停電を実施しており、地下深いプラチナ鉱山を通常レベルで操業するには安全性が危ぶまれるため精錬生産の制限が行われることも考えられる。前期は大小のプラチナ鉱山が電力問題に影響を受け、未精錬の地上在庫が蓄積された。規模の小さいロイヤル・バフォケン・プラチナでは、継続的な停電の影響を受けて2022年第3四半期のプラチナ精錬生産が前期比で マイナス7.6%となった。一方南アフリカの精錬プラチナ生産の48%を占めるアングロ・アメリカン・プラチナムでも、エスコムの停電は今期の生産と精錬・製錬の両方に影響が及び、加工在庫(4E)が1.3トンとなったとしている。さらに、同社は溶鉱炉の再構築を行っている最中で精錬生産は前年同期に比べて31%減った。今年出荷されなかった精錬メタルは2023年初めに市場に出回る。南アフリカの生産予測は5.6トン減って約136.8トンとなるため、2022年のプラチナ市場の余剰は予測よりも減ることになる。

プラチナ価格は先週、8月の高値960ドル/オンスの上値を超えられなかったが、2.8%上昇し、947ドル/オンスで週を終えた。

パラジウム

ロシア産のパラジウム供給は今の所中断なし
ウクライナで始まった紛争のため、ノリリスク・ニッケルが制裁を受けてパラジウム供給が滞るのではという懸念で、パラジウム価格は高騰を続け過去最高値をつけた。しかしノリリスク・ニッケルに対する制裁は現実とはなっておらず、同社は今年9月までに前年比で11%増(2021年は鉱山浸水で低水準)となる65.3トンのパラジウムを生産している。ノリリスク・ニッケルは今年末の生産目標、76.2トン~84.3トンに変更しておらず、これは世界のパラジウム生産の約40%となる。しかし鉱山機械のサプライヤーの多くはロシアとの取引を停止しているため、高性能機器の交換や更新などが困難になると予想され、来年は減産や供給問題に発展するかもしれない。

普通乗用車販売、中国が西側諸国を上回る回復
今年の自動車触媒のパラジウム需要は3.4%増えて242.6トンとなるが、2023年の需要は世界的な経済成長の鈍化のためにわずかだが減少する予測。今年9月までの世界の普通乗用車販売は、2021年は6070万台と低迷したにもかかわらず、これよりさらに2%減って5950万台となった(出典: LMC オートモーティブ)。しかし中国の自動車市場は新車の購入にあたって一時的な減税策が導入されたことで堅調さを保った。2022年上半年は深刻な中断があったにもかかわらず、9月の販売台数は前年比26.4%増、今年9月までの販売は前年比8.2%増と報告されている。また新エネルギー自動車は9月の普通乗用車販売で過去最高となる27%のシェアを占めた。新エネルギー自動車購入にあたって適応される減税策は2023年12月まで延期され、引き続き内燃機関車よりも新エネルギー自動車の購入を支えるだろうが、それがパラジウム需要の足を引っ張る可能性がある。しかしこのような状況にもかかわらず、中国における2023年の自動車触媒のパラジウム需要は、1.5%と少ないが増加して80.9トンとなり、再びパラジウム需要の最大分野となるだろう。しかし来年のパラジウム市場は余剰に転じるとされ、価格は下落するだろう。

https://www.heraeus.com/en/hpm/market_reports/weekly_market_reports/market_reports.html

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 現在、プラチナの現物投資は最もコストが低い投資方法となっている。2021年半ば以来プラチナ投資方法の中で最も低コストなのは、初めがETFだったが、それが先物に変わり、現在は現物メタル保有に変わった。プラチナのフォワードカーブは2021年半ば以来バックワーデーションとなっている。また、先物よりも現物を保有してリースに出す方が有利となる可能性が高い。詳しくはプラチナ展望「現物保有が有利と判断した投資家の変化がETF売却の背景か」(2022年11月3日)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research/perspectives>

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。



(@wpicjapan)